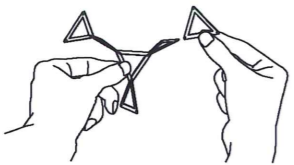
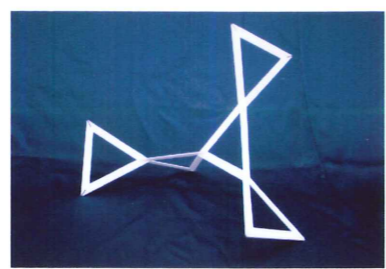

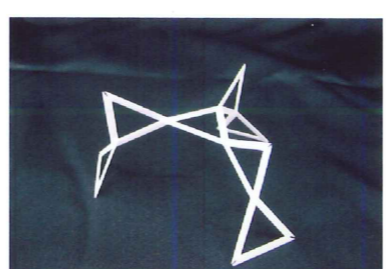


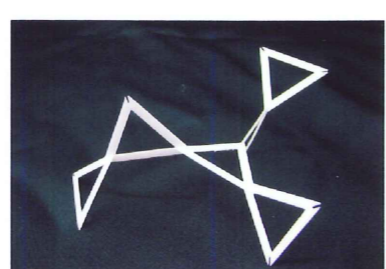
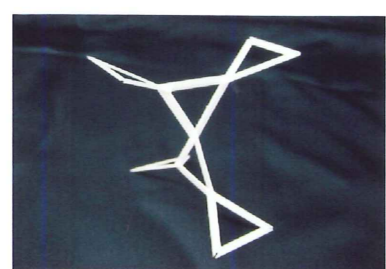
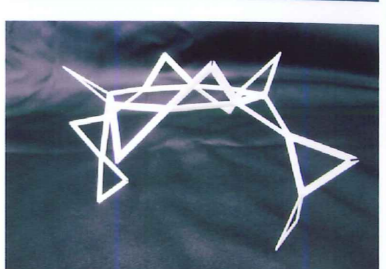
Puzzleのように楽しく形態を創生することができる

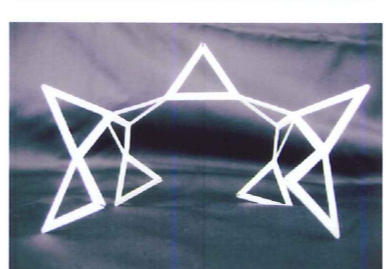
▽規則・ルール  
同じ枚数から同じ形態しかできないものとして下記の3つがある

▽可能性  
三角形の各頂点をジョイントとしており部材同士を繋げていくことでジョイント数が増え様々な形態を創生する



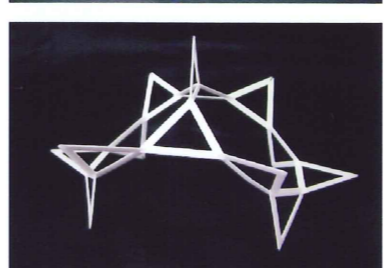
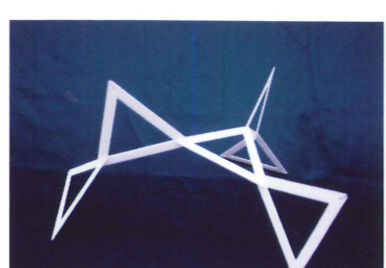
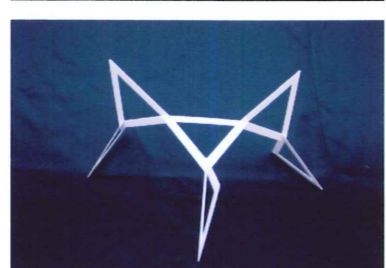
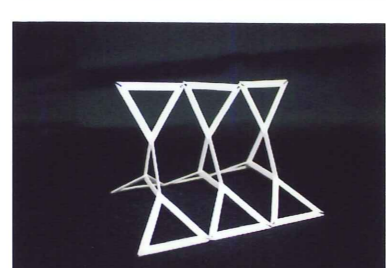
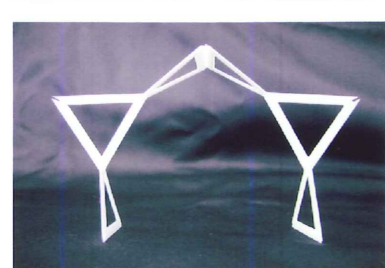
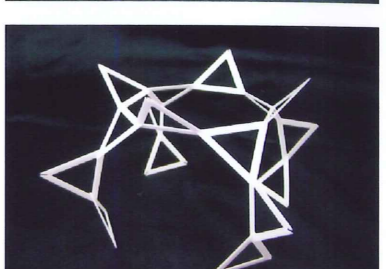
この3つの形態はその他の形態の最小単位であり、これらの組み合わせから多様な形態を創生することが可能となる



M; 空いているジョイント数  
n; 部材数  
α; 部材1枚のジョイント数  
β; 接合部の数  
γ; 接合部に用いるジョイント数

$$M = \alpha n - \beta \gamma$$

(証明)  
(i) n=1  
 $M = 3 \times 1 - 0 \times 2 = 3 - 0 = 3$   
(ii) n=2  
 $M = 3 \times 2 - 1 \times 2 = 6 - 2 = 4$   
(iii) n=3  
 $M = 3 \times 3 - 2 \times 2 = 9 - 4 = 5$   
(iv) n=x  
 $M = 3 \times x - (x-1) \times 2 = 3x - 2x + 2 = x + 2$   
 $\therefore M = n + 2$



よってジョイント数 M は部材数 n に比例し増えることがいえ、その可能性は無限大である

